

ご挨拶

農)おくたま農産
代表理事組合長 小野寺勝義



<発行人>
農事組合法人 おくたま農産
責任者 代表理事組合長 小野寺勝義
連絡先 0191-56-2301
E-mail okutama-nousan@tmt.ne.jp

日も長くなりずいぶん暖かく感じる日が増えてきました。あっという間に3月になりました。おくたま農産の作業も2月より始まり今月には耕起作業が始まります。昨年は6月から30度を超える日があり生育に影響が出て、作業に当たって頂いた皆様にもご苦勞をお掛けしましたので暑さ対策を兼ね今年の作業は1週間前倒しで計画を立てました。異常気象が異常でなくなり当たり前になったと感じています。

ニュースを見るとオリンピックと戦争、渇水と豪雪、右と左に極端に振れる事ばかりで今年の天気や社会情勢が気になりますが今年の作業が始まり野の草木が新芽を出し始めると心が躍ってきます。どうかよろしくお願ひ致します。

春作業に向け、準備は着々と！ 間もなく、耕起・代掻き等春作業開始！

大豆圃場への粃殻簡易暗渠の実施

水田での大豆は排水対策が重要です。特に発芽時の湿害による発芽不良が収量に大きく影響します。そこで昨年度から実施し、効果がありました「モミサブロー」活用による粃殻簡易暗渠を今年も実施しています。



2台のトラクターが連携し作業実施



「モミサブロー」へ粃殻を補給しながら簡易暗渠を実施



溝を掘って地中に粃殻を投入



地中に粃殻を入れることで排水が良くなります。

土壌改良資材散布に向けて機械を準備！

3月中旬よりブロードキャスターを活用し土壌改良剤(ケイカル等)を散布する計画、トラクターにブロードキャスターを装着し作業を。主食米作付け圃場への土壌改良剤散布は71haを予定！



6台のブロードキャスター、発進準備完了！

圃場の補修・整備も実施！ 毎年なおすところいっぱい出てきて大変です。

春作業に向け、圃場及び用排水路や畦畔などの補修作業も実施

排水管が潰れ、排水不良となっている圃場の排水管の交換作業

⇒排水を良くすることで水管理や秋作業がスムーズになります。



低くなってしまった畦畔の補修作業。あわせて圃場内で高低差あるところも土を移動し改善！

⇒深水管理や除草対策などに水稻の生育にとって効果が期待できます。



機械の補修・整備も順調に！ 農閑期となる12月以降に整備作業を実施！（佐々木整備士に感謝！）



ロータリーの爪の交換作業



連結部の整備作業



ロータリーをトラクターに連結



水稻播種機の整備



アタッチメントも整備完了(ほんの一部ですが)



除草剤散布用ホバークラフトも準備OK!

『令和7年度いきいき農村基盤整備事業』補助金を活用し暗渠排水を実施（坂下・此ノ手地区）

昨年の女聖地区ため池整備工事の実施に続き、本年度も「令和7年度いきいき農村基盤整備事業」を活用し坂下・此ノ手地区の暗渠排水工事を実施しています。受益面積1.9ha、事業費3,355千円(補助金1,845千円、自己負担金1,510千円)で3月末までに完了します。



坂下地区の圃場(受益面積1,27ha)



此ノ手地区の圃場(受益面積0.63ha)

◀加工部だより▶



1月16日より開始されました「麴・味噌づくり」は加工部の皆さんが毎日交替しながら仕込み作業が行われています。本年度は36樽(1樽65kg)を仕込む計画ですが、2月末現在で21樽を仕込みが終了しました。

残り15樽、作業は4月上旬まで続けられます。

* 熟成した味噌は10月ころから供給する予定です。お楽しみに！

編集後記

アメリカとイスラエルがイランを攻撃しました。すでに燃料価格が上昇し始めたとのこと。円安であらゆる物が高騰しているのに、更に肥料・飼料・農薬・燃料・資材等が値上げされるのでは心配しています。

東日本大震災からもう15年となりました。早いものです。

今年の3.11は世界平和を祈りましょう。合掌・・・

PS:トランプさんのやりたい放題になっていますが

高市さんは相変わらず何も言わず！スペインは立派です。

(菅原)

日当たりの良い土手に満開の『福寿草』が！
3月4日の雪に負けずきれいに咲いています



◎勝手に写真撮って掲載しました。ご了承下さい。
◎どこの土手だか分かった方はお知らせ下さい。景品を差し上げます。(味噌ですが)